

# 会員だより

## 大内人形

小さな子供の掌にも乗る様な「内裏びな」木製で衣装に細かく模様が施されています。

これは、私が小学校の低学年の頃、大学生の兄の部屋で見つけて兄にももらった物です。当時兄はテニスの部活で日中はほとんど家に居なかったので小学生の私には二階に有る兄の部屋は好奇心をそそられる楽しい部屋でした。

その内裏びなを大切に自分の宝物入れの箱に仕舞い、時々取り出しては見ていた。しかし、年月が経ち、そのおひな様の存在さえ忘れていました。



わたしの宝物「内裏雛」

ところが外出もままならぬ今日この頃押入の整理をしていて奥の方の箱

に鎮座していました、お二人に再会しました。

懐かしくて思わず掌にのせて眺めていました。木地の色が濃くなり絵の具の金銀の輝きは失せています。丁寧に作られていて、今さらながら優れた職人技に感心いたしております。

その兄も黄泉の国へ旅立って十数年、私もいずれあちらの世界へまいりませう。その時、兄にもし出会えたら「誰から貰った内裏びなの」と聞いてみようと思っております。

田中 容子



## 「V G 槻輪だより」第 200 号発行記念に向けて

実に無責任な私です。すみません。何しろ、何年に入会したか、いつから「わがまち紹介」活動に参加したか、「V G 槻輪だより」に投稿し始めたか覚えていません。「会計」担当の後、「書記」も担当してきました。

2004 年 11 月「V G 槻輪だより」第 1 号が発行され、2021 年 5 月第 200 号発行とはまさに「V G 槻輪」の

偉業に他ならないと思えます。

私が具体的に担当していることはメガネ収集のまとめをして、スリランカ友の会関西に送ることぐらいでしょうか。



心をこめ清掃・消毒し 乾かして個包装 輸送用段箱に詰める

「わがまち紹介」活動も情報提供も投稿も、趣味で通せるのが V G 槻輪の良い所ではないかと思えます。

この歳になると、この先、今まで生きてきた長さの何分の 1 かを如何に過ごそうかと特に「V G 槻輪だより」に何時まで投稿できるのかと考えてしまいます。

困ったことにコロナ騒ぎで、旅行もままならないので、種切れになりました。早く以前の生活が戻ってきて欲しいです。また共に紙面でご一緒に旅行しましょう。末長くよろしく。

上村 サト子



## 会報「V G 槻輪だより」第 200 号を

迎えました！

「V G 槻輪だより」第 200 号記念発行に当たり、会員としてとても喜ばしい事です。

16 年余り、市民の生活支援活動や、パソコン教室、会員の趣味の発表、関西の歴史博物館、地元企業の見学訪問などして、見聞を広め会員との絆を深め、より会員の活動が発展する事をお祈り致します。

これからも、会長、会員皆様との交流が出来る事を感謝して、熱い心ざしで「パソコン教室」・「メガネリサイクル活動」や「わがまち紹介」活動などをし、会報「V G 槻輪だより」が発刊出来る事を期待致します。

中原 マサ子



## ウォーキング中の出来事

あまりに突然だったので「あ、どうしよう。どうしよう」私の身体に異変が起きたと思ひ、恐怖心でいっぱいになりました。

心筋梗塞の始まりか、色々な思いが巡り、不安だらけになりました。左足だけが痺れ、マヒ感が出て、まるで「ぐにゃ・ぐにゃ」な感じ。立っていられなくなり、道路傍に腰を降ろしてしま

いました。10 分ちかく休んで、どうにか元通りに歩けて「やれやれ、あ、良かった」で安堵しました。



腰痛のイタミ いやです！

あれしきのことで、こんな事が……。いずれにせよ、無理は効かない年令になったのだと痛感しました。せっかく素晴らしい活動の V G 槻輪会員に参加させて頂いているので、皆様方と一緒に色々な行事を楽しめる様に、健康に気を付けて、頑張らなくてはと思っております。

榎並 多津子



## 私の近況報告

私は阪急南千里に住んでいます。高槻から遠いのですが、妹に誘われて V G 槻輪の「わがまち紹介」活動に参加しているうちに「V G 槻輪」の会員になりました。

後日、思い出すことでした。ウォーキング途中、若芽のヨモギを見つけて、田舎育ちの私は摘まずにいられなくなり、犬の歩かない高い斜面部分を選んで頑張り、左足にかなり負担をかけた過ぎた事が原因だったのでしよう。



斜面のヨモギつみは危険

去年 10 月に大阪中之島近辺歩道に参加した際、階段を滑り、腰を打ちました。それがきっかけか、もともと持っていた脊柱管狭窄症が進んだのかわかりませんが痛みが止まらなくなり、手術になりました。

コロナ禍で一切面会が出来ずちよつと不安ですが、戻った頃に世の中が明るくなっていることを期待します。また良くなれば参加させていただきます。

山田 昭子